

# 令和2年 笹下地区の概況

〈笹下地区の年齢別人口の比較〉

	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総人口	高齢化率
現在(R2.9)	2,366人	13,174人	5,013人	20,553人	24.3%(区平均28.6%)
5年前(H27.9)	2,520人	13,270人	4,680人	20,470人	22.8%(区平均26.6%)

出典：統計情報ポータル ※港南1～6丁目、港南中央通、笹下1、7丁目のデータを使用しています

笹下地区は、区役所、消防署、警察署などの公共機関が集中しており、鎌倉街道周辺は平坦ですが、その周辺は急な山坂が多い地区です。13自治会町内会で構成され、連合、地区社会福祉協議会の活動と共に「夏祭り(盆踊り)」、「餅つき大会」は全自治会町内会で実施していて活動が盛んです。

「笹下川音頭」制作、「ファミリースキー」などの新たな取り組みや、「港南桜まつり」や「ささげ祭り」など、長く続く地域の行事も大切にし、一人一人が笹下のまちを「ふるさと」と思えるように活動しています。



港南桜まつり

笹下地区の構成町会 町会数：13自治会町内会



第4期 笹下地区地域福祉保健計画(令和3年4月～8年3月)

# 「わたしのふるさと・笹下」

～楽しく暮らす、誇りに思うまち～



## 地域福祉保健計画・5つの取組

いつも、大丈夫



児童の登下校見守り(港南ひまわり83(ハチサン)運動)

みんな顔見知り



ささげ祭り

3世代交流



「笹下川音頭」制作

笹下川  
詞 金子平治郎  
円海山を源流に  
ふな、はや、うなぎが多くいた  
釣りに、かい、掘り、水遊び  
子どもの遊び場、懐かしや  
あ、笹下川は憩い川

バトンをつなごう



大岡川クリーンアップ

元気で長生き



ファミリースキー

## 「わたしのふるさと・笹下」地域福祉保健計画ができるまで

第4期計画は第3期計画を軸にしながら、一人一人が笹下のまちをふるさとと思えるように「わたしの」という言葉を加え「わたしのふるさと・笹下」という目標にしました。みんなで笹下のまちを、より良くしていこうと考え、これまでの意見交換会やアンケートで、いただいた意見を基に、連合町内会、地区社会福祉協議会、各部の代表者から構成された策定委員会で作成しました。これからも連合や町内会の活動を通じた住民同士のつながりを大切にし、一人一人が笹下のまちを「ふるさと」と思えるように、この計画をふりかえりながら活動していきます。







意見交換会



策定委員会





テーマ	こんなまちにしたい	具体的な取組目標
<p><b>いつも、大丈夫</b></p> <p>安全・安心・快適なまち</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「安全」で誰もが「安心」して快適に暮らせるまち</li> <li>● みんなで高齢者と子ども、障がいのある方を「見守れる」まち</li> <li>● お互いが「声をかけあい、助け合える」まち</li> <li>● 「災害」に強いまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各町内の「明るい夜道」、各家庭の外灯の点灯による「安全なまち」づくり。</li> <li>● 「港南ひまわり83(ハチサン)運動」で、登下校時の子どもを守る。</li> <li>● 日頃から高齢者や障がいのある方への思いやりや声かけを忘れず、困った時に支え合える関係をつくる。</li> <li>● 詐欺や悪質商法の被害を防ぐため、啓発を行う。</li> <li>● ちょっとした困りごとを近所で支える、ささげネットワークを推進する。</li> <li>● 安心安全な避難場所の確保と防災に関する情報の共有。</li> </ul>
<p><b>みんな顔見知り</b></p> <p>笑顔の見える関係づくり</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「あいさつ」を交わすまち</li> <li>● 「向こう三軒両隣」の関係ができるまち</li> <li>● 日々の生活を支える情報の基盤が整備されたまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「また来てね」、「次は友達も一緒に」などの声をかけ、つながりづくりを推進する。</li> <li>● 回覧板、町会の広報を工夫し、向こう三軒両隣の関係ができる地域を目指す。</li> <li>● 各町内会の良いところを笹下地域だより「ささげひろば」で紹介して、地域全体に反映していく。</li> <li>● 地域情報を伝えるホームページの作成など、町会の広報を充実し、町会の加入に力を入れる。</li> </ul>
<p><b>3世代交流</b></p> <p>年の差を超えて</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「3世代」が参加・交流するまち</li> <li>● 「ふるさと笹下」の文化を継承するまち</li> <li>● 「まつり」のあるまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ささげ祭り」「港南桜まつり」「各町会の夏祭り」「ささカフェ」「ささげひまわりサロン」など、集いの場、学びの場による3世代交流を推進する。</li> <li>● 町会の子どもが参加できる行事(ファミリースキー等)を企画し3世代で支援・交流する。</li> <li>● “3世代が参加”を目指す笹下のシンボル(文化)づくり。 「笹下川音頭」や、得意なことを生かしたまちの先生、地域の歴史、技術など“ふるさと笹下”の文化を継承する。</li> <li>● 「ささげ祭り」「港南桜まつり」「各町会の夏祭り」を時代に合わせ、新しいスタイルで企画、推進する。</li> </ul>
<p><b>バトンをつなごう</b></p> <p>新しい担い手づくり</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今までの行事をつなぎ新たな事業のための「人づくり」</li> <li>● 新しい感覚を持った「人材の発掘」</li> <li>● ボランティアの活躍するまち</li> <li>● 「ふるさと笹下」を育む「仲間づくり」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小・中・高校生・現役世代の方にも行事に参加してもらえるような工夫をする。</li> <li>● 大岡川クリーンアップなど地域のイベントで、中学生も役割を担うことで、地域とのつながりをつくる。</li> <li>● 行事参加者と交流会を開催して関係を深め、次のボランティアとしての意識づくりを行う。</li> <li>● 町会のボランティアから始まり、仲間づくりで地域を盛り上げ、人材育成をしていく。</li> </ul>
<p><b>元気で長生き</b></p> <p>みんなで健康づくり</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康に年を重ねて「ほっこり」暮らせるまち</li> <li>● 「生き生き元気」なまち</li> <li>● 「自分の健康は自分で守る」まち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「まちぐるみ健康づくり教室」などに参加し、体力アップで無理なくピンピン長生き。</li> <li>● 「ファミリースキー」「ラジオ体操」で、子どもと一緒に、家族ぐるみで運動しよう。</li> <li>● 「自分の健康は自分で守る」「家族の健康は家族で守る」習慣づくり。</li> <li>● 「健康アクションこうなん5 ～あるこう毎日、たべよう野菜、まもろう歯、なくそうたばこの害、やすもうっかり～」の継承で健康習慣を推進する。</li> </ul>